

# 事業報告書

団体名：京都・丹波/亀岡市民まちづくり風の会

1. メニュー名	(1) スタート事業 ② ステップアップ事業 (3) 市民連携事業
2. 事業名	寺小屋プロジェクト
3. 実施場所	亀岡市内の寺院
4. 実施期間	平成28年5月25日 ~ 平成29年3月24日
5. 実施内容	実施した内容を具体的に記入してください。(実施スケジュール、会場、内容、講師名、参加者数、情報など)

## 寺小屋カフェ

### <第1回寺小屋カフェ>

テーマ：『電力の選び方講座』～節電所の時代がやってきた～

日時：平成29年6月25日(土) 13:30～16:30

場所：法華寺

講師：朴勝俊さん(関西学院大学総合政策学部教授)

参加者数：17名

内容：(詳しくは、添付資料：「まちづくり亀岡かわら版」参照)

電力自由化の仕組みと、自由化で何が変わるかなど、外国の例など多方面から話を聞く。私たちが環境負荷の少ない良質な電源を選ぶことが、再生可能エネルギーの活用に繋がり、その発展に寄与すること。また、節電の努力をたくさんの方がすることで、巨大発電所に匹敵する価値があるといった、私たちがすぐに実践できる例をはじめ、商店街で電力消費量を減らした市民共同節電所の取り組みなど、「節電所」という考えについても、実践例を聞き、持続可能なエネルギーについて意見交換をした。



### <第2回寺小屋カフェ>

テーマ：『空き家で街（まち）んぐ講座』～広島・尾道空き家再生プロジェクトの事例に学ぶ～

日時：平成29年9月6日（土）13:30～16:30

場所：好堅寺

講師：豊田 雅子さん（NPO 法人尾道空き家再生プロジェクト代表）

参加者数：23名

内容：（詳しくは、添付資料：「まちづくり亀岡かわら版」参照）

広島県尾道での空家再生プロジェクトの取り組みの具体的事例を聞き、これからの亀岡での「空家再生」について、一緒に考える機会とした。亀岡市もこれから空き家バンク立ち上げるとのことで、ふるさと創生課の職員さんも参加された。参加者から様々な空家の活用のアイデアが出された。



### <第3回寺小屋カフェ>

テーマ：『楽しく始める、生前整理』～高齢化社会を考える～

日時：平成29年10月26日（水）13:30～16:30

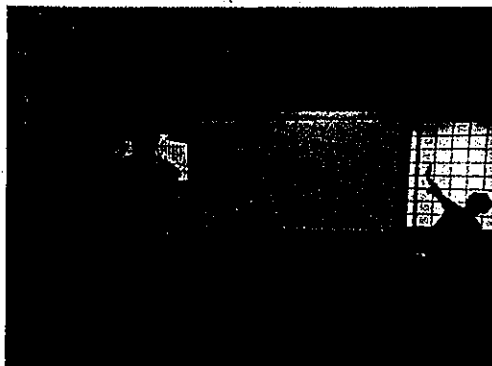
場所：嶺樹院

講師：古田 ゆかりさん（生前整理アドバイザー）

参加者数：20名

内容：（詳しくは、添付資料：「まちづくり亀岡かわら版」参照）

高齢化社会を迎え、それぞれの老後の迎え方が問われる今日、楽しく充実した毎日を生きることを前提とした生前整理のあり方を学んだ。今まで歩んできた人生を振り返りながら「心・物・情報」を整理する方法をいろいろアドバイス頂いたあと、おひとり様のための亀岡市のサービスなどについて話を深めた。



#### <第4回寺カフェ>

テーマ：『ミツバチ再生計画』～森づくり、まちづくり～人とミツバチにやさしい農業の未来を考える

日時：平成29年11月27日（日）13:30～16:30

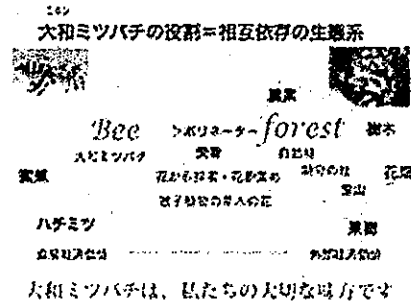
場所：真福寺

講師：吉川 浩さん（大和ミツバチ研究所所長、ビーフォレスト・クラブ会長）

参加者数：21名

内容：（詳しくは、添付資料：「まちづくり亀岡かわら版」参照）

ニホンミツバチによる自然林の再生に取り組んでおられる吉川さんのお話を聞いた。森の中に巣箱を置き、ニホンミツバチを増やすことで、樹木の花の受粉を助け森を豊かにする。ミツバチと自然と人は共に繋がって生きている。蜂蜜を採るための養蜂ではなく、森を豊かにするためのビーフォレストの取り組みから、私たちが生態系の一部として、貢献できることを学んだ。



#### <第5回寺カフェ>

テーマ：『幸せな子育てでしあわせなまち』～アドラー流・子育て指南～

日時：平成29年2月25日（土）13:30～16:30

場所：龍潭寺

講師：井上 知子さん（臨床心理士）

参加者数：20名

内容：（詳しくは、添付資料：「まちづくり亀岡かわら版」参照）

アドラー心理学に基づいた子どもとの関係のあり方など、ロールプレイを交えながらわかりやすくお話頂いた。子育ての目標はうまく「離す」こと。赤ちゃんの時から子どもには意志があり、生きようとする力がある。子どもが自分で育つ力を認めることが大事。支配するのではなく、寄り添う言葉を。日常生活にも活かせる具体的なお話で、講演後の座談会も意義あるものになった。



## その他

4月～2017年3月まで隔月1回/ 寺小屋カフェのためのミーティング、資料製作、準備

9月23日・12月7日・2月8日/ 「デスマス・カフェ」(法華寺)

12月24日/「お寺でワンディレッションそば打ち！」(真福寺)

10月3日・12月17日/「空家談義」(本町カフェ・心療愛荘)

8月、10月、11月、2月、3月/ 「まちづくり亀岡かわら版」寺小屋カフェレポート 発行

3月24日/ 報告書製作・発送

## 6. 成果

事業の実施により、課題解決がどのように図られたのか、申請時の事業計画書と対比させるかたちで、事業の効果や成果を数値、具体例などを用いて具体的に記入してください。

1) 地域課題の解決やまちづくりを、共に学び合える場の創出により、自身の住むまちづくりに関心を持つ人の掘り起こし、解決策をともに考える市民を増やす。

- ・テーマによって参加者の年齢層が違い、それぞれに関心を持った市民が集まり、講座を機会に、ネットワークが広がった実感はあるが、まちづくりのエネルギーとして大きなものになったとは言えない。これからじっくり対策を考えていきたい。

2) 寺院が多いという亀岡の特色を活かして、寺院を「学び舎」として、地域活性化の基点に。

- ・どちらの寺院も、寺小屋カフェの趣旨をご理解下さって、多大なご協力を頂いた。
- ・実際に寺院をお借りして講座を開いてみて、学び舎としての環境が素晴らしいと思った。
- ・寺院のある地域の方への参加の働きかけができなかったにも関わらず、ご住職や寺総代さんがお声かけして下さったお陰で、地域の方の参加もあった。
- ・ご住職がおられないお寺も市内には多いが、地域の方がお世話されて、こどもたちの合宿に提供している寺院もあり、寺院の本来のあり方を見たように思った。
- ・仏様のおられる場を使用させていただくことには、参加者の意識に開きがあり、課題として残った。

3) 行政との連携

- ・まちづくり協働支援金を頂いたことで、いろいろなテーマで講師を迎えられ、多くの市民のみなさんと課題解決に向けて意見交換ができたことは、ありがたい事だった。
- ・第2回「空き家で街(まち)んぐ」には、ふるさと創生課からも参加され、意見交換と一緒に加わって頂いて、連携の足がかりができたのではないかと。
- ・事前にテーマに合った亀岡市の担当者への働きかけを、もっと積極的にすべきだった。

7. 協働の効果	事業実施にあたって、他団体等と協働で実施された場合は、実施の効果や今後に向けての課題について、具体例などを交えながら具体的に記入してください。 ※市民連携事業に関わらず、他団体との協働があった場合は記入してください。
----------	---

2つの団体にご協力いただいた。

◆国境なき僧侶団・・・会場としての寺院の場所手配、アドバイスなど。

◆暮らしを見つめる会・・・参加者募集。会報「暮らしを見つめる会つうしん」への掲載。

8. 今後の展開	事業の実施成果を受けて、今後の事業展開をどのようにされるのか、申請時の事業計画書と対比させるかたちで、記入してください。
----------	--

<まちづくりへの提言と情報発信、そして移住促進へ>

- ・地域の人たちと、参加者がよい関係を作りながら気軽に学習し、語り合い、その内容を、講座ごとに「まちづくり亀岡・かわら版」(添付資料参照)という形にまとめ、広く参加者以外の方にも知っていただくことができた。
- ・5回の講座で見えてきたものを、具体的に実行し、まちづくりに生かしていけたらと思う。例えば、第2回「街(まち)んぐ講座」をきっかけに、空家談義として、市内の古民家を活用したスペースで2回情報交換の場を持った。このように、講座の内容を更に深めたり発展させたり、実践する取り組みを継続していきたい。来年度は具体的に何ができるかをゆっくり考えたい。
- ・歴史や文化、人と人とのつながりを大事にしながら、亀岡を今よりも魅力ある「住みたいまち」にして、外からの移住希望者も多く受け入れられるようなまちに発展させられたらと思う。それには私たち自身が更なる研鑽を積まなければならない。

※チラシや参加者への配布資料、事業実施写真など実施状況が分かる資料を添付してください。

※記載内容が本様式に入りきらない場合は、適宜追加してください。

寺子屋  
カフェ

tera-cafe

# 「空き家で、街(まち)んぐ講座」

～広島・尾道空き家再生プロジェクトの事例に学ぶ～

日時：9月6日(火) 13:30～

場所：好堅寺 (亀岡市東別院町小泉犬道60) 駐車場あり

日本の大きな社会問題になっている空き家問題。亀岡市でも自分たちの住む地域周辺に、空き家が目立つようになってきました。今回は、広島・尾道で、豊田さんが、自分自身の尾道移住や空き家再生の経験をもとに、子育てをしながら「空き家の再生」に取り組んでこられた事例を参加者みなさんと共有し、これからの亀岡での「空き家再生」について、一緒に考える機会を持てたらと考えています。

講師：豊田 雅子さん

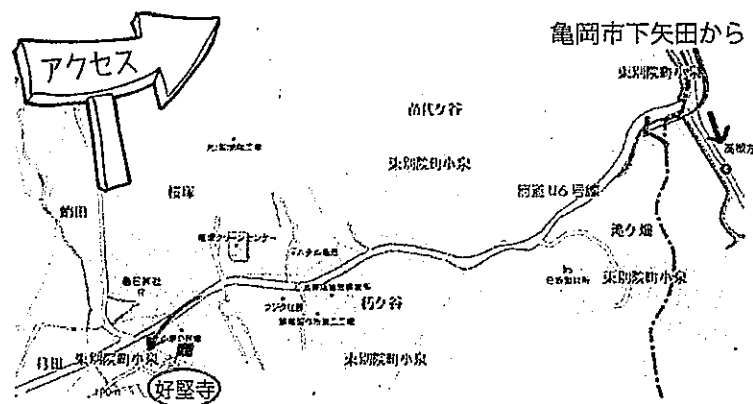
(NPO 法人尾道空き家再生プロジェクト代表)

<http://www.onomichisaisei.com/>

<https://www.facebook.com/onomichisaisei>

対象：空き家を探している方、借りたい方  
空き家を貸したい方、  
空き家を再生している方、再生した方  
行政や、NPO 担当者、  
まちづくりや建築に関心のある方など

参加：500円 (お茶・資料)



<好堅寺さんまでのアクセス>  
※車で、矢田口交差点から約10分

「寺子屋カフェ」とは、亀岡の地域課題を考える学び舎として、亀岡に多くあるお寺を活用させていただき、市民のみなさんと共に学ぶ場づくり、まちづくりを、考えていく場です。寺子屋カフェの第1回は「電力の選び方講座」を行いました。今後は「高齢化社会と地域の役割」、「無農薬・自然農法を考える」など、継続的に開催していく予定です。どうぞ気軽にご参加下さい。



【連絡・お問い合わせ】〒621-0815 京都府亀岡市古世町 3-16-8-306

TEL : 080-9164-7051 <http://e-kazenokai.net/>

<連携グループ> 国境なき僧侶団・くらしを見つめる会

第2回寺子屋カフェ @好堅寺 九月六日

「空き家で街をくぐる」  
尾道空き家再生プロジェクトの事例に学ぶ  
講師：豊田雅子さん

今回の寺子屋カフェは東別院町小泉の静かな集落にある好堅寺さんで開催しました。広島・尾道で空き家再生に取り組んで来られた豊田雅子さんをお迎えし、お話を聞きました。

◆ヨーロッパの古い街並み

90年代の終わり、海外旅行の添乗員をしていた頃、ヨーロッパの古い街をたくさん訪ねたことが今の活動に強く影響している。地産地消の石材を使って街が造られているので、それぞれの街が違った色、味わいを持っている。特別な観光スポットがなくても普通の暮らしから生まれる街並み自体が観光資源に。人々が自分のまちに誇りを持ち大事にしている。

◆尾道の街並みは共有の財産

一方、生まれ育った尾道は、一昔前の路地や坂の街の風景というのが魅力なのに、それが負の遺産みたいな状況に追い込まれ、空き家も増えていた。古い家の維持管理ができない持ち主さんだけの責任にするのではなく共有財産として、みんなで考えなきゃいけない問題なのではと思った。

◆カウテイハウスとの出会い

当時、街の経済の中心エリアに、50軒ぐらい空き家があるという状況。一軒直して活用出来たらと、大阪在住の間に6年間空き家探しをする中で、地元の方や、市役所、移り住んでいる若い方とのネットワークが構築された。その後、尾道に帰り、小さな空き家に出会い買い取った。昭和初期にひとりの職人さんが三年がかりで建てたもの。外観の面白さからカウテイハウスと呼ばれていた。

◆NPO尾道空き家再生プロジェクトの立ち上げ  
この家を買ったときのいきさつや尾道の空き家事情、ヨーロッパの街のことなどをブログでアツアツしたら大変反響があった。空き家がたくさんあって、ニーズもみんなにあるのでマッチングさえすればなんとかなると思った。空き家は傷みが早いので、スピードが大事。個人よりも団体として活動し、古いものを生かしたまちづくりが尾道のスタイルとして定着するよう、07年に尾道空き家再生プロジェクトを立ちあげた。現在180名程。

◆コンセプトは、ひろくゆるく

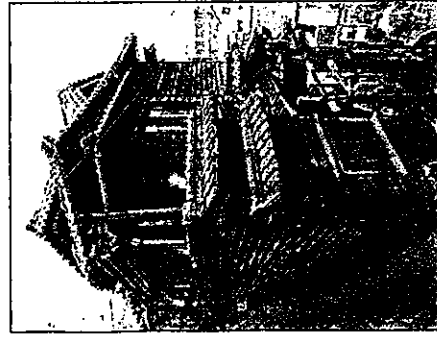
- ・コミュニティを大事にする。
- ・気候風土に合った地産地消の材料で作った家を受け継いでいく。
- ・使えるものは使いながら大事にする。
- ・アートの視点を大切に。視点を変えればボロボロの空家でも活用法が。
- ・空家を使って観光客も活用できる場所を作り、交流人口を増やす。

◆空き家再生の過程

まずはボランティアでゴミ出し。まだ使えるものは蚤の市をして、リユース。その後、建築士、大工さんに構造を見てもらう。建築塾を開き、職人さんの指導で壁塗り、床張り、タイル貼りなど。仕上げは若いアーティストに。と、いった風に、たくさんの人に関わってもらう。民家や、アパート、洋品店や、文化財級の建物も再生し、住居、工房、店、ゲストハウスに。

◆空き家バンク

尾道市がやっていたのをNPOも一緒にすることで新しくリニューアルし、大家さんと移住希望者さんをマッチング。空き家めぐりツアーや、相談会も開催。サポートメニューも。



通称 尾道カウテイハウス  
尾道空き家再生プロジェクト・TPPより



お茶を飲みながら、意見交換

空き家の再生

亀岡のまちづくりを

豊田さんのお話の後、意見交換をしました。

古民家を改装して亀岡に移住して来られた方、空き家改築専門の業者の方、自宅の空き室を活用してゲストハウスを始められた方など、様々な体験談をお話頂きました。また、古民家で家族葬をするなど、これからの空き家活用の可能性を語り合ったり、豊田さんを交えて空き家談義に花が咲きました。

亀岡の農村部には大きな農家と田畑が残され、旧市街には歴史ある町家が、また、かつての新興住宅地にも空き家が目立ちます。地域によってその活用法も異なり、多様に考えられると思います。亀岡市のふるさと創生課も空き家バンクを作る準備をされています。

今回の会場の好堅寺さんには大変お世話になりました。

この講座をきっかけに今後も「空き家談義」を続け、亀岡のまちづくりを考えていきたいと思っています。みなさんのご参加お待ちしております。今後の予定は風の会にお問い合わせ下さい。

私たち「風の会」は

亀岡に眠っている資源を掘り起こし、亀岡ならではの、個性豊かなまちにしていこうために、知恵を絞り、力を合わせて、爽やかな風を起こしていきたいと思えます。

TEL 080-9164-7051

